

事後評価シート

コード 5-2-7	事務事業名 資源収集事業	所管部課 環境防災部ごみ減量推進課
--------------	-----------------	----------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 家庭から排出された再利用可能な資源物を有効活用するために収集し、処理施設へ搬入する。	事業の区分 <input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 行革項目 <input type="checkbox"/> その他の事務事業
	実施内容、実施方法 市内を4地区に分け、各地区に週2回の収集を行う。 びん・缶・ペットボトルは、市が週1回収集 古紙・古布は、委託業者が週1回収集	根拠法令等 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 西東京市廃棄物の処理及び再利用に関する条例、施行規則
	事業開始時期 合併前から	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

評価指標の設定	活動指標名 収集日数	活動指標の考え方(定義) 資源物を収集した日数
	成果指標名 1次 収集量	成果指標の考え方(定義) 1次 資源物を収集した量
	1次	1次
	2次 資源物比率	2次 市が収集したごみの総量に対する資源物の割合

		単位	15年度	16年度	17年度	18年度
事務事業データ	事業費(A)	千円	23,109	28,714	33,658	39,826
	国庫支出金					
	都支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源		23,109	28,714	33,658	39,826
	所要人員(B)	人	49	45	44	43
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	405,377	374,760	360,140	351,955
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	428,486	403,474	393,798	391,781
	単位当たりコスト (E)=(D)/ (収集量)	千円	47	43	41	#DIV/0!
歳入	千円					
活動指標	目標値	日				200
	実績値	日	200	200	200	
活動指標	目標値					
	実績値					
1次成果指標	目標値	t				10,000
	実績値	t	9,143	9,314	9,609	
1次成果指標	目標値					
	実績値					
2次成果指標	目標値	%				21.0
	実績値	%	19.2	19.9	20.3	

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	
	26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	26市中約70%が、当市と同様に週1回の収集となっている。
	運営上の制約条件・ 外部要因等	清掃作業員の退職者は不補充となっており、今後は、退職者数によって委託化をしていく必要がある。

コード 5-2-7	事務事業名 資源収集事業	所管部課 環境防災部ごみ減量推進課
--------------	-----------------	----------------------

【事業所管部評価】

検証項目	選択基準	ランク	選択理由、特記事項等
1 目的の適切さ・目標	目的の妥当性 4 上位施策と目的が合致しており、施策に対する貢献度は他の事業と同程度である	4	
	目標の妥当性 3 市が独自に目標を定量的に設定している	3	
	緊急性 5 財政難の中、他の事務事業を休止してでも優先して実施する必要がある	5	
2 市が関与する必要性	法的義務性 5 法律で実施することが義務づけられている	5	
	必要性 4 安全・安心・健康な市民生活の水準の維持に不可欠なサービスである	4	
	民間との役割分担 1 民間団体が同種のサービスを十分提供し、質または量が上回っている	1	
3 内容の適切さ	ニーズ 5 市民(市内)ニーズに関係なく実施する必要がある	5	
	規模・方法の妥当性 3 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	3	
	公平性 5 直接の対象は、すべての市民または団体である	5	
4 実施手段の適切さ	有効性 4 現在、質・水準の改善に取り組んでおり、成果の向上が期待できる	4	
	効率性 3 既に他の実施主体を一部活用し、コスト低減に取り組んでいる	3	
	独自性 3 国や都に同種の目的を有する(類似・重複を含む)他の事務事業がある	3	
合計		45	

	評価結果	判断理由、説明等
総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>リサイクルが推進される現在で、資源物の収集は重要な役割を担っている。容器プラスチックが増え続ける中、資源化を進めることで、ごみの減量に効果が大きい。ごみに対する資源物量も少しずつではあるが増加しており、資源化が進んでいることが伺える。平成19年度に実施予定の容器包装リサイクル法に伴う分別収集、戸別収集、有料化に対応した新たな収集体制等を平成18年度中に再構築する必要がある。</p>

18年度における改善点	平成19年度に実施予定の容器包装リサイクル法に伴う分別収集、戸別収集、有料化に対応した新たな収集体制等を平成18年度中に再構築する必要がある。
-------------	---

二次評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>容器包装リサイクル法に伴う分別収集、戸別収集、有料化に対応した収集体制を再構築する必要がある。 委託化については、現業職員の退職者不補充で段階的に進めているが、全面委託については正規職員の配置問題等も含め、その時期を見極め、可否を検討しておく必要がある。</p>
------	---	---

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>二次評価記載のとおり、収集体制の再構築を効率的に進め、委託化にあたってはその時期や実施内容等を十分に検討する必要がある。</p>
--------	---	---